

自由が丘地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和7年11月28日(金)
午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所 自由が丘公民館 2階中会議室
- 3 参加者 自由が丘地区 22人
市 18人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、議会事務局、消防長、教育総務部長、教育振興部長、市民協働課長、生活安全課長、環境課長、高齢福祉課長)
オブザーバー 7人
傍聴者 3人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 防犯ライト(センサー式)補助金の創設について

【自由が丘地区】

自由が丘地区の小中学生にアンケートを取ったところ、約5人に1人が下校時等に「暗くて怖い思いをしたことがある」と回答した。

この結果を踏まえ、防犯灯の積極的な設置について協力いただきたい。また、センサー式防犯ライトの補助制度などの、安全性向上に寄与する制度設計についても検討いただきたい。

【市民生活部長】

1点目の防犯灯の設置について、自治会の境界や住居がない幹線道路付近などの地域住民以外の利用が多く、地域住民が費用を負担するには適さないような場所については、市が地域に負担を求めることなく設置を進める制度もある。まずは、危険箇所を特定し、生活安全課に相談いただきたい。

2点目の安全性の向上については、市としては、まずは防犯灯の設置を第一に考えている。防犯灯の整備が行き届いた

のちに、防犯灯だけでは対応しきれない部分を補完するための、センサー式防犯ライト等の補助制度の導入についても研究していきたい。

イ 外国人の転入者に対する市の対応について

【自由が丘地区】

外国人の運転による交通事故の報道を目にする。外免切替をしないような無免許運転が要因となっているのではないかと推測する。以上を踏まえ、転入してくる外国人に対して、日本免許の取得もしくは外免切替を行う必要があるといった制度の周知と、外国人運転手への免許所持確認や取り締まりの強化をお願いしたい。

【生活安全課長】

1点目の制度周知については、市民協働課と連携し、外国人向けに交通安全教室を開催している。また、企業向け生活オリエンテーションの機会も活用し、制度周知を行いたいと考えている。

2点目の取り締まりの強化については、要望があった旨を三木警察署に伝える。

ウ 防犯カメラの設置について

【自由が丘地区】

令和6年度から現在までに設置された防犯カメラの設置数について、地区別に教えていただきたい。

【生活安全課長】

三木地区で13台、三木南地区で1台、自由が丘地区で3台、緑が丘地区で3台、計20台を設置した。

【自由が丘地区】

自由が丘地区に設置された3台の設置場所はどこか。

【生活安全課長】

志染駅東口付近に2台、西口付近に1台を設置している。

エ 外国籍の方との共生

【自由が丘地区】

回答に、企業向け生活オリエンテーションの利用頻度が少

ないため、一層の周知に努めるとあったが、具体的な周知方法について教えていただきたい。

【市民協働課長】

周知方法については、三木商工会議所や吉川町商工会の協力を得て、市内約1800の企業・事業所に、生活オリエンテーション等を記載したチラシを配布したほか、広報5月号でも生活オリエンテーションについて掲載した。また、広報の周知だけではなかなか依頼がないため、外国人を多く雇用されている企業については、直接訪問し、主旨等を説明する場合もある。今後も、直接企業へ訪問するなどして、周知の強化に努めていく。

【自由が丘地区】

ポケトークの貸出は実施していないとのことだが、外国人住民との意思疎通はどの自治会でも共通の課題であると考えするため、貸出を検討いただけないか。

【市民協働課長】

貸出制度を整備した場合、紛失や破損があった際に地域に負担が生じてしまうなどの懸念がある。また、無料の翻訳アプリであっても、ポケトークと同等のコミュニケーションが可能であることから、現時点で貸出制度については慎重に検討しなければならないと考えている。

しかし、地域の皆様が外国人住民とのコミュニケーションに苦慮されていることは承知している。職員が地域に出向き市の制度等について説明する「出前トーク」に、今年から、多文化共生についてのメニューを追加した。ぜひ地域でご利用いただきたい。

【自由が丘地区】

外国人住民相談窓口について、自治会を通じて書面で周知していただけないか。

【市民協働課長】

外国人住民相談窓口を記載した電話相談窓口一覧のポスターを各自治会で掲示いただいている。また、外国人住民相談窓口の案内は、転入時の外国人住民に対して、チラシをお渡ししている。地域でチラシの配布を検討している場合はご用意させていただくので、ご相談いただきたい。

【自由が丘地区】

来年からごみカレンダーがごみ収集予定表に変わるとのことだが、多言語版についても作成されているのか。

【環境課長】

現在、市民協働課及び国際交流協会と調整しているが、記載事項等が多岐にわたることから予定していない。

【自由が丘地区】

外国人が多く利用するごみステーションを優先に、多言語に対応した看板を立てて、ごみ収集日等の見える化を図りたい。

【環境課長】

看板の設置については、ごみステーションの立地条件等によって、看板が立てられる場所と立てられない場所があるため、難しいと考える。しかし、ごみステーションに貼られたQRコードを読み取ることで外国語のホームページへ誘導するような仕組みなど、さまざまな対応策を現在検討している。

【自由が丘地区】

ごみ分別アプリについて、多言語対応に向けて業者と調整中とのことだが、いつ頃に完成するのか。また、アプリのダウンロードや設定方法が記載されたチラシなどを作成し、転入してきた外国人へ配布を検討いただきたい。

【環境課長】

1 点目の完成時期について、来年度中には何らかの形でアプリをご利用いただけるよう進めている。

2 点目の転入者への案内について、アプリの整理が完了次第、案内チラシを作成し、市民課の窓口で配布できるようにしたい。

オ 認知症の取組 その2

【自由が丘地区】

認知症サポーター養成講座について、小学校や高校で実施したとのことだが、対象学年、講座内容などの詳しい実施状況を教えていただきたい。

【健康福祉部長】

今年度、小学校については、4年生児童を対象として3校(平田・広野・三樹)で講座を開催した。認知症とは何かという内

容で、体験学習などの形で実施した。また、三木北高校の3年生を対象にも実施した。いずれも子どもたちの前向きな感想がみられたため、来年度以降も引き続き、学校へ呼びかけていきたい。

【自由が丘地区】

認知症サポーター養成講座について、自治会役員を対象にした講座を定期的の実施していただきたい。

【高齢福祉課長】

地域において認知症について考える機会を持っていただくことに感謝する。役員の皆様の負担のない範囲で開催させていただきたい。具体的な内容等については個別で対応させていただくのでご協力をお願いします。

【自由が丘地区】

認知症予防検診、頭健康チェック、認知症チェックシートの3点を、「頭健康診断」として、市民に案内を配布し、受診してもらうような制度を構築してほしい。

【高齢福祉課長】

ご指摘の3点をセットで配布するとなると費用が発生する。市では、介護予防講座やいきいき体操などの認知症予防に取り組んでいる。必要な方に必要な情報が届くよう今後も工夫していく。